

整理番号 23020

比較交流論Ⅱ 2単位 後期

講師 竹原威滋 2・3・4年次

【テーマ、及び授業到達目標】

テーマ：説話による東西文化の交流

授業到達目標：説話を通し世界の文化理解を深める。

【授業概要・授業計画】

本講では、いくらかの具体的な説話を取り上げて、世界各地に伝わる類話を紹介しながら、その発生、成立、伝播の問題を考察し、東西文化の交流の素顔に迫りたい。

1. 伝承文学とは？（神話、昔話、伝説、笑話など）
2. 口承文芸（音声）と書承文芸（文字）と電網文芸（ネット・ロア）－『古事記』・『グリム童話』・『世界百人村』
3. 日・英・独の最古の説話資料－『古事記』・『ベオウルフ』・『ヒルデブラントの歌』
4. グリムと『子供と家庭のメルヘン集』の成立事情
5. グリム童話の文体変遷（聞くメルヘンから読むメルヘンへ）その1. 『星の銀貨』
6. その2. 『蛙の王様』
7. 西洋の昔話『いばら姫』・『白雪姫』について（バジレ・ペロー・グリム・ジェイコブズ）
8. 日本の昔話『こぶとり爺』について－『宇治拾遺物語』、『醒睡笑』、鈴木三重吉ほか『日本お伽集』
9. 日欧昔話比較論－日本の昔話『こぶとり爺』とグリム童話『こびとの贈り物』その1. 説話の起源と伝播
10. その2. 時代と地域によるジャンル変遷
11. 日欧伝説比較論－『世界の龍・ドラゴンの話』
12. 奈良町の民話『良弁杉』、『采女の恋』、『十三鐘の石子詰め』、『中将姫』、『餅飯殿の由来』、『蓮長寺の竜』ほか。
13. 現代民話と電網文芸とケータイ小説（『消えたヒッチハイカー』・『電車男』・『恋空』）
14. 伝承の語り手と現代のストーリーテラー
15. 試験

【評価方法・基準】

毎回の授業出席カード（授業の感想・質問等記入）	30%
数回の小レポート	30%
最終試験（小論文形式の記述テスト）	40%

【テキスト】

竹原威滋著『グリム童話と近代メルヘン』（三弥井書店）。
またプリント教材も適宜、配付する。

【参考書・履修上の注意事項等】

参考文献リストは、竹原のホームページにて公開：
<http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~takehat/bunken1.htm>
授業は講義方式であるが、対話形式も採り入れるので、
学生諸君の積極的な参加を望む。